

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	22
実施計画事業名	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進	担当部署名	子育て支援課 生涯学習課	
事業の実施目的 及び概要	<p>○子どもの健全な育成を図るため、子どもたちの放課後や週末などの安全で安心な居場所づくりに取り組むとともに、異年齢や世代間の交流や体験活動の充実を図ります。また、児童の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とした健全育成の場を提供します。さらに、子どもの現在及び将来が生まれ育った環境によって左右されることがないよう、経済的な理由や家庭環境などによって困難を抱える子どもに対して、学習習慣の定着及び子どもの居場所の提供に努めます。</p> <p>○学童クラブへのニーズの高まりに対応するため、計画的な学童クラブの整備・改修を図るとともに、公立学童クラブの指定管理者への委託、民間学童クラブへの支援を行います。</p>			
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 第2期印西市子ども・子育て支援事業計画	
取組方針	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) 児童健全育成事業の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) 24学童クラブの指定管理者による運営 民間13学童クラブへの補助 学校施設を借用した学童クラブの運営4カ所 学童クラブの新設・サービス充実の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) 児童健全育成事業の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) 24学童クラブの指定管理者による運営 民間15学童クラブへの補助 学校施設を借用した学童クラブの運営4カ所 学童クラブの新設・サービス充実の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) 児童健全育成事業の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) 24学童クラブの指定管理者による運営 民間15学童クラブへの補助 学校施設を借用した学童クラブの運営4カ所 学童クラブの新設・サービス充実の検討
事業費	663,307千円	593,335千円	593,335千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ひとり親家庭等生活向上事業
	3-3-5	児童福祉施設費	児童遊園に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	中央駅前地域交流館児童健全育成事業活動に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	子どもふれあいセンターに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	そうふけ児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	いんば児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブ施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・公立学童クラブ(24学童クラブ)の運営を行った。 ・民間学童クラブ(13学童クラブ)への運営費補助を実施した。 ・高花学童クラブ(普通教室)、いんば野学童クラブ(多目的室)、木刈学童クラブ(家庭科室)の整備を行った。 ※公設民営(指定管理者)24学童クラブ、民設民営13学童クラブ計37学童クラブ ・生活困窮世帯及びひとり親世帯等の児童(小学4年生から18歳まで)に対し、学習支援や居場所の提供を行うことで、基本的な日常生活習慣や学習習慣の定着を図ることができた。(小学生登録者:21人、利用者数:369人/年中高生登録者:28人、利用者数:478人/年) ・児童館利用人数(そうふけ児童館14,702人)(いんば児童館6,590人)(子どもふれあいセンター7,168人)(中央駅前地域交流館4,142人)	当初予算	663,307,000円
		予算現額	697,100,000円
		決算額	628,235,080円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子どもの学習支援事業の実施回数(1週あたり)	回	目標値	3	3	3	4	4
			実績値	3	3	4	4	
	児童館事業の周知(児童館だよりの配布)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	
	学童保育実施箇所数	箇所	目標値	33	34	35	37	39
			実績値	33	35	37	37	
学童クラブ入所定員数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,770	1,850	
		実績値	1,570	1,645	1,770	1,915		
学童クラブ新設・改修工事の実施数	箇所	目標値	2	1	-	-	-	
		実績値	2	1	3	4	-	
成果指標	子どもの学習支援事業利用登録者数	人	目標値	30	40	40	40	50
			実績値	31	32	41	49	
	児童館利用件数	人	目標値	80,600	80,700	80,800	80,900	81,000
			実績値	11,851	18,711	24,562	31,864	
	学童クラブ入所児童数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,770	1,850
			実績値	1,467	1,654	1,847	1,975	
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	児童館利用については、感染防止対策に応じた人数制限をなくしたことにより利用人数の増加となった。引き続き児童館利用等の周知について実施していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市内児童館等の改修工事が順次実施される予定であるが、代替施設の周知を徹底し、利用者の不便さが解消されるよう努めていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	23
実施計画事業名	子どもと親の健康づくりの推進と特別な支援が必要な子育て家庭への取組	担当部署名	子育て支援課、子ども家庭課、障がい福祉課
事業の実施目的及び概要	<p>○子どもと保護者にとっての心身の健康は充実した生活の基本であることから、親子の健康の保持増進をより一層図るとともに、望ましい食習慣の定着を図る食育を推進します。また、乳幼児健診や専門相談等を実施し、成長発達に支援が必要な乳幼児の早期発見及び親の育児不安等に対する支援の充実を図ります。</p> <p>○ひとり親家庭は子育ての負担が大きくなる傾向があるため、相談体制の充実や生活・就業・経済的支援等を行っていきます。また、全国で児童虐待の事件が後を絶たない現状を踏まえ、今後も育児不安や児童虐待などの問題に早期に対応するための相談体制の整備・充実を図ります。</p>		
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	母子及び父子並びに寡婦福祉法 母子保健法 児童福祉法 第2期印西市子ども・子育て支援事業計画
取組方針	子どもと親の健康づくりの推進と特別な支援が必要な子育て家庭への取組		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。(新たに5歳児相談・低所得の妊婦に対する初回産科受診料助成を開始) 不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 子ども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。 不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 子ども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。 不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 子ども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。
事業費	415,742千円	410,698千円	410,698千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	3-3-1	児童福祉総務費	子ども家庭総合支援拠点事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等医療費等助成に要する経費
	3-3-3	母子福祉費	児童扶養手当給付事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	子ども発達センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	母子保健事業
	4-1-3	母子衛生費	不育症治療費助成事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	当初予算	415,742,000円
	予算現額	405,139,000円
	決算額	375,548,624円
	翌年度繰越額	-

・ひとり親家庭等に対する助成内容については、子育て支援ポータルサイトでお知らせをすることで必要な方への発信に努めることができた。また、児童扶養手当現況届提出の際に就業状況等の相談に合わせ、自立支援給付金の制度の周知を行った。(子育て支援ポータルサイト「ひとり親家庭への支援・助成」閲覧数 160件/月)
 ・家庭児童相談を実施し、子育て家庭の不安や悩みの軽減を図った。
 ・児童虐待防止のための周知・啓発を行うとともに、関係機関との会議等を行い、連携を図ることで、児童虐待の早期発見・早期対応に努めた。
 ・幼児健診については、1歳6か月児健診905人、2歳児歯科健診900人、3歳児健診1,178人の利用があり、相談等対応に努めた。
 ・妊婦健康診査延べ9,302人、産婦健康診査延べ1,252人・新生児聴覚スクリーニング検査745人、乳児健康診査(3-6月・9-11月)1,670人利用した。また、子ども家庭庁のこどもデータ連携実証事業に参加し、AIを活用した困難(産後うつや児童虐待)の類型と関連性の深いデータ項目の分析を継続した。SNSを活用した妊娠・子育てに関する支援として、LINE相談は登録者714人、相談件数208件となり、9月からInstagramを開始し、現在コンテンツを8個としている。YouTubeでの動画コンテンツも随時作成した。
 ・5歳児相談では、年中学年1,313人に「子どものつよさと困難さアンケート(SDQ)」を実施し、希望者50人に心理士や保健師による相談を実施した。
 ・低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業では2件、不育症治療費助成事業では4件へ助成した。
 ・出産後の支援として、助産師による電話相談を1,613件実施したほか、乳児家庭全戸訪問事業については793件実施した。
 ・発達に支援が必要なお子さんが通う保育園及び幼稚園28園に対し、巡回相談を35回、延べ 91人に実施した。園での対応方法やアドバイスをし、支援が必要なお子さんに対する理解が図られた。
 ・子ども発達センター利用者のニーズと状況に合わせたグループを組み、それぞれに課題を設定し療育を行った。契約者83人、延べ 2,943人に療育を実施し、小集団の療育の中で利用児の困り感が改善されたり生活習慣や行動が身についた。また、療育を利用している保護者を対象に、保護者学習会を実施し保護者支援を行った。
 ・利用児が在籍する園とは発達の状況の共有や相談対応、保育所等訪問支援等で連携を密に行うことができた。
 ・障害児相談支援事業で療育利用児69人と契約、計画相談、モニタリングを実施し、保護者支援の充実を図った。

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ひとり親家庭等医療費助成の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3	3	
	相談事業の周知(広報への掲載)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	
	母子・父子自立支援員による相談事業実施日数	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	243	243	243	
乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)の実施率	%	目標値	92	94	96	98	100	
		実績値	95	95	99	100		
成果指標	ひとり親家庭等医療費助成件数	件	目標値	3,600	3,600	6,500	6,500	6,500
			実績値	6,322	6,613	6,672	6,261	
	母子・父子自立支援相談件数	件	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	35	39	66	61	
	児童家庭相談件数	件	目標値	360	360	360	360	360
			実績値	367	327	356	335	
	児童虐待相談件数	件	目標値	180	180	180	180	180
			実績値	258	234	245	251	
	健やか親子21聞き取り項目育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	%	目標値	85	90	95	95	95
			実績値	83	80	84	84	

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	児童数の増加や児童虐待についての認識の高まりにより、児童虐待相談件数が目標値より増加している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	児童虐待防止のため、周知・啓発に努め、関係機関と連携して対応していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
育てにくさを感じた時に対処ができないということは子の健やかな成長や虐待リスクとして重要な因子となるため、匿名で相談できるLINE相談、児童館等に遊びに来たついでにできる専門職への相談、じっくりと時間をかけて相談ができる個別相談など、多様なニーズに応えられるよう事業を周知していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	24
実施計画事業名	子育て家庭への切れ目のない支援	担当部署名	子育て支援課、保育幼稚園課、子ども家庭課
事業の実施目的及び概要	<p>○少子化や核家族化が進む中、育児の孤立化や育児不安が大きくなる前に支援することが重要であることから、子育て家庭が身近な地域で切れ目のない支援を受けられる体制づくりを推進するとともに、子育てに関する相談体制や情報提供体制の充実を努めます。</p> <p>○公立保育園での安全かつ質の高い保育サービスの提供及び老朽化した保育施設の計画的な改修整備を推進するとともに、民間保育園の運営に対する補助や民間保育園新設に対する施設整備補助を行い、保育サービスの充実と保育の受け皿拡大による保育園待機児童解消を図ります。また、保育を必要とする児童の受入れを行う民間保育園に対して、国が定める公定価格に基づき委託料を支出します。</p>		
関連施策	【2-1】子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 母子保健法 第2期印西市子ども・子育て支援事業計画
取組方針	子育て家庭への切れ目のない支援		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当の支給及び医療費の助成 地域子育て支援拠点事業の実施 ファミリーサポートセンター事業の実施 子育てヘルプサービス事業の実施 子育て世帯訪問支援事業の実施 産後ケア事業の実施 ブックスタート事業の実施 子育て短期支援事業の実施 子ども家庭センターにおける育児相談の実施 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 保育園改修工事検討 子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) 各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) 保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 民間保育園の運営に対する補助 	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当の支給及び医療費の助成 地域子育て支援拠点事業の実施 ファミリーサポートセンター事業の実施 子育てヘルプサービス事業の実施 子育て世帯訪問支援事業の実施 産後ケア事業の実施 ブックスタート事業の実施 子育て短期支援事業の実施 子ども家庭センターにおける育児相談の実施 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 保育園改修工事検討 子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) 各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) 保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 民間保育園の運営に対する補助 	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当の支給及び医療費の助成 地域子育て支援拠点事業の実施 ファミリーサポートセンター事業の実施 子育てヘルプサービス事業の実施 子育て世帯訪問支援事業の実施 産後ケア事業の実施 ブックスタート事業の実施 子育て短期支援事業の実施 子ども家庭センターにおける育児相談の実施 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 保育園改修工事検討 子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) 各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) 保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 民間保育園の運営に対する補助
事業費	9,307,342千円	9,309,507千円	9,309,507千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ブックスタート事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てヘルプサービス事業、利用者支援事業に要する経費、子育て短期支援事業に要する経費、認可外保育施設等の無償化に要する経費、子育て世帯訪問支援事業に要する経費、産後ケア事業に要する経費
	3-3-2	児童措置費	児童手当給付事業
	3-3-4	保育所費	保育園運営に要する経費、地域子育て支援センター「こあら」に要する経費、保育園給食運営事業、民間保育園の保育委託に関する経費、民間保育園等運営費支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	つどいの広場事業、小林子育て支援センターに要する経費、中央駅前地域交流館子育て支援事業活動に要する経費、滝野子育て支援センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	子ども医療費助成事業、未熟児養育医療事業、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	当初予算	9,307,342,000円
	予算現額	9,414,826,000円
	決算額	8,886,459,318円
	翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値 ※高校生等医療費助成制度は令和5年8月より子ども医療費助成制度に統合しました。

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子ども医療費・高校生等医療費助成制度の周知(広報への掲載)	回	目標値		3	3	3	3	3
	実績値			3	3	3	3	
地域子育て支援拠点事業実施箇所	箇所	目標値		24	24	25	25	25
	実績値			24	25	23	23	
ファミリーサポートセンターの提供会員	人	目標値		110	110	110	110	110
	実績値			91	94	96	108	
育児相談実施箇所	箇所	目標値		11	11	11	11	11
	実績値			11	11	11	11	
改修工事の実施数	園	目標値		-	1	1	-	1
	実績値			-	1	1	-	
子ども医療費及び高校生等医療費助成件数	件	目標値		265,000	265,000	265,000	265,000	265,000
	実績値			242,747	268,843	342,540	359,310	
地域子育て支援拠点事業利用者数	人	目標値		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
	実績値			49,892	69,523	69,906	70,211	
ファミリーサポートセンター事業の利用時間	時間	目標値		2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
	実績値			2,919	2,937	2,442	2,692	
育児相談利用者数	人	目標値		320	320	320	320	320
	実績値			317	256	323	353	
4月1日現在保育園在園児童	人	目標値		2,700	2,800	3,200	3,800	3,800
	実績値			2,748	3,057	3,334	3,457	

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
<p>・ファミリーサポートセンターについては、提供会員及び地域子育て支援事業の利用者の拡大を図っていく。</p> <p>・前年度に引き続き、待機児童は0名となったが、保育園の在園児数は引き続き増加しており、今後も送迎保育ステーションや子ども誰でも通園制度の新規事業の拡大により、さらに、待機児童対策や保育サービスの充実を図る。</p>

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	25
実施計画事業名	子どもたちの学ぶ力を育む		担当部署名	指導課 学務課
事業の実施目的 及び概要	3つを柱とした子どもたちの資質・能力(①生きて働く知識及び技能、②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など、③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など)を育成するため、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	学ぶ力を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) 各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) 教職員研修及び指導法等研修の実施 研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 学校図書館の環境整備と機能の充実 イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) 特別支援教育研修会の実施 早期就学相談の実施(希望者) 小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) 印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) 各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) 教職員研修及び指導法等研修の実施 研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 学校図書館の環境整備と機能の充実 イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) 特別支援教育研修会の実施 早期就学相談の実施(希望者) 小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) 印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) 各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) 教職員研修及び指導法等研修の実施 研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 学校図書館の環境整備と機能の充実 イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) 特別支援教育研修会の実施 早期就学相談の実施(希望者) 小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) 印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援
事業費	366,659千円	366,659千円	366,659千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	特別支援教育事業、進路対策事業、国際理解教育推進事業
	9-1-4	教育センター費	教育に関する調査・研究・開発事業、教育情報収集・活用事業、教職員研修事業
	9-2-1	学校管理費	小学校管理運営に要する経費
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-1	学校管理費	中学校管理運営に要する経費
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業、職場体験事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	「漢字級別認定テスト」については3回実施した。のべ数で目標値を大きく上回る受検者があった。今年度から、計算力認定テストを実施せず、「印西市世界に羽ばたくグローバル人材育成プロジェクト」の実施に伴い英語コミュニケーション認定テストを全小学校で実施し、のべ1321名の児童が受検した。各校で行われる授業研修会等に指導主事等を148回派遣し、授業の工夫・改善に向けた指導助言を行った。	当初予算	366,659,000円
	・特色ある教育活動について、教科等の指導におけるICT活用・情報教育の指定を全小中学校、外国語教育の推進の指定を小学校2校(内野小・原山小)に、指導主事が指導・助言を行った。	予算現額	381,266,000円
	・夏季研修会については、現場のニーズや教育課題に応じた18講座を開催した。のべ533人の教職員が受講し、受講者にとって満足度の高い研修を実施した。	決算額	339,738,341円
	・学校図書館システムのアップデートによる、検索、貸出、返却、各種統計処理等を円滑に進めたことで、学校図書館の機能の充実を図った。牧の原小と原小では、教室の増築に伴い、この分の学校図書館用のPC端末を増設した。	翌年度 繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	漢字級別認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	計算力認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	実施なし	
	夏季研修会に参加した教職員の満足度割合	%	目標値	90	90	91	91	92
			実績値	95	95	99	94	
イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1	
		実績値	中止	代替実施	1	1		
就学相談を実施することが望ましいと見込まれる対象児童の割合 *2	%	目標値	5.5~6.5	5.5~6.5	5.5~6.5	5.5~6.5	5.5~6.5	
		実績値	8	7	7	11		
成果指標	漢字級別認定テストの受検者数	人	目標値	11,000	11,110	11,221	11,333	11,447
			実績値	12,970	12,810	12,605	12,861	
	計算力認定テストの受検者数	人	目標値	10,000	10,100	10,201	10,303	10,406
			実績値	12,304	12,940	12,719	実施なし	
	学校評価(授業力向上)における児童生徒の肯定的回答率	%	目標値	88	88	88	89	90
			実績値	91	90	93	92	
イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の事後追跡調査結果 *1	%	目標値	80	-	-	-	80	
		実績値	90	R2年度中止	R3年度中止	R4年度代替実施		
上記の見込対象児童に対する就学相談の実施率 *2	%	目標値	100	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100	100		

*1 イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)を実施した2年後に行う追跡調査において、「研修経験が高校進学や将来の職業観など、進路選択に生かした」と回答した参加生徒の割合
*2 ここでは就学前児童及び就学前相談を対象としている。

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
外国語活動(英語科)において、「世界に羽ばたくグローバル人材育成プロジェクト」の実現に向け、計算力認定テストを中止し、英語コミュニケーション力認定テストを小学校5・6年で実施した。国語科では、漢字級別認定テストについて一定の成果が見られたため、これに代わり論理的思考力の向上を目指し、一人一台端末を用いた教材を開発中である。令和8年度より実施予定。

令和6年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	26
1. 事業の概要				
実施計画事業名	子どもたちの豊かな心を育む		担当部署名	指導課
事業の実施目的及び概要	子どもたちの豊かな心や創造性を涵養するため、道徳科を要とした体系的・系統的な道徳教育を推進するとともに、体験活動や多様な表現、鑑賞活動等の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	豊かな心を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育授業実践研修会の実施(3回) 人権教育研修の実施(随時) さわやかハートフルコンサートの開催(1回) 小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) 親子での自然科学体験学習の開催(5回) 適応指導教室の充実 面接相談・電話相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育授業実践研修会の実施(3回) 人権教育研修の実施(随時) さわやかハートフルコンサートの開催(1回) 小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) 親子での自然科学体験学習の開催(5回) 適応指導教室の充実 面接相談・電話相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育授業実践研修会の実施(3回) 人権教育研修の実施(随時) さわやかハートフルコンサートの開催(1回) 小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) 親子での自然科学体験学習の開催(5回) 適応指導教室の充実 面接相談・電話相談の充実
事業費	54,219千円	54,219千円	54,219千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	小中学校芸術文化体験事業
	9-1-4	教育センター費	自然科学体験学習事業
	9-1-4	教育センター費	教育相談事業
	9-1-4	教育センター費	適応指導教室事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	当初予算	54,219,000円
	予算現額	59,361,000円
	決算額	37,173,538円
	翌年度繰越額	-

・道徳教育実践研修会については、教育センターでの理論研修を受け、各学校での授業実践をし、最後にまとめの活動を行うという形式で、各学校1名参加し、道徳教育の核となる教員の育成と資質向上を図った。
 ・各学校で実施した教職員対象の学校評価アンケート結果から、心の教育の充実の設問に対して好意的回答をした割合が90%を超えた。
 ・学校での人権教育研修において、事例を踏まえて今日的な子どもの人権問題を中心に理解を深めた。
 ・さわやかハートフルコンサートには、市内18小学校、8中学校の計26校が参加した。音楽活動を通して児童生徒の学びあいや豊かな情操を養った。
 ・小学校6年生児童を対象に小学校芸術鑑賞教室を6回に分けて開催しおよそ1,200人児童が参加した。狂言や落語等の古典芸能を味わい、日本の伝統芸能についての理解を深めた。
 ・教育センター主催の自然科学体験は、施設改修による一時移転のため、夏季休業中にオンラインによる科学実験講座を午前と午後1回ずつのべ2回実施し、38名が受講した。
 ・適応指導教室には最大16名の児童生徒が、8中学校内の適応指導教室には最大111名の生徒が在籍した。児童生徒個々の状況に応じ、心の安定に努めたり、学校との心的距離を縮めたりした。
 ・面接および電話にて、教育センターで157件の相談に応じた。(このほか指導課でも面会相談76件、電話相談140件に応じた。)

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道徳教育授業実践研修会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	
	さわやかハートフルコンサートの開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
	小学校芸術鑑賞教室の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
自然科学体験教室の開催回数	回	目標値	5	5	5	5	5	
		実績値	3	3	2	2		
適応指導教室の開室日数	日	目標値	195	195	195	195	195	
		実績値	193	194	190	190		
成果指標	学校評価(道徳・心の教育の充実)における教職員の肯定的回答率 *1	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	99	95	97	97	
	市内全児童生徒に対するさわやかハートフルコンサート参加児童生徒数の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	20	20	21	20	
	小学校芸術鑑賞教室の参加児童数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,100	1,100
			実績値	1,131	1,180	1,206	1,210	
	事後アンケートにおける自然科学体験教室参加者の肯定的回答率 *2	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100	100	100	実施なし	
適応指導教室に通室する児童生徒の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100	100		

*1 学校評価「あなたほ豊かな人間性を育む心の教育の充実」に努めているか」の問いに対し、「そう思う」「どちらかというそう思う」と回答した教職員の割合
 *2 事後アンケート「今後も体験学習会に参加してみたいか」の問いに対し、「とても思う」「思う」と回答した参加者の割合

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市内の2ヶ所適応指導教室に加え、令和6年度より、市内8中学校に校内適応指導教室を開設した。自分の所属する学級に入れないが、校内適応指導教室に通学できる生徒が100名を超え、個に応じた多様な学びの機会の提供をすることができた。令和7年度からは適応指導教室という名称を、「教育支援センター」に変更するとともに、一部小学校にも教育支援センターを開設し、より児童生徒に寄り添った支援を実施していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号 27

1. 事業の概要

実施計画事業名	子どもたちの健やかな体を育む	担当部署名	指導課 学校給食課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの運動に親しむ資質・能力の育成や体力の向上を図るため、学校体育の充実や部活動の支援に努めるとともに、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、学校給食を活用した食に関する指導の充実を図ります。		
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 学校給食法 第2期印西市教育振興基本計画 学校保健安全法
取組方針	健やかな体を育む		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校駅伝競走大会の開催(1回) 部活動サポート事業による指導者派遣 健康診断の実施 小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) 学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) 栄養教室の実施(全小学校) 家庭・地域と連携した食育の推進 給食献立の工夫と改善 第3子以降学校給食費無償化の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校駅伝競走大会の開催(1回) 部活動サポート事業による指導者派遣 健康診断の実施 小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) 学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) 栄養教室の実施(全小学校) 家庭・地域と連携した食育の推進 給食献立の工夫と改善 第3子以降学校給食費無償化の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校駅伝競走大会の開催(1回) 部活動サポート事業による指導者派遣 健康診断の実施 小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) 学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) 栄養教室の実施(全小学校) 家庭・地域と連携した食育の推進 給食献立の工夫と改善 第3子以降学校給食費無償化の実施
事業費	2,197,874千円	2,197,874千円	2,197,874千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	部活動推進事業
	9-1-3	教育研究指導費	小学校駅伝競走大会
	9-6-1	保健体育総務費	学校保健事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業
	9-6-3	学校給食費	学校給食事務費
	9-6-3	学校給食費	高花学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	牧の原学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	印旛学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	中央学校給食センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・小学校駅伝競走大会は、応援児童の参加は無しにするなど多少の縮小は行ったが、例年に近い形で実施することができた。	当初予算	2,197,874,000円
	・市内全中学校に部活動サポーター21名を、陸上・ソフトテニス・卓球・バレーボール・サッカー・剣道・吹奏楽・野球の部活動に配置した。学校の部活動と地域スポーツ、地域文化活動をつなぐ架け橋となった。	予算現額	2,208,111,000円
	・児童生徒の定期健康診断、小児生活習慣病予防検診及び事後指導は、感染対策を講じながら通常どおり実施した。	決算額	2,090,379,120円
	・小児生活習慣病検診には、およそ3000人の児童生徒が受検し、その後の事後指導を受け、自己の生活習慣を振り返り、今後の生活の仕方について目標をもつことができた。	翌年度 繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小学校駅伝競走大会の開催回数	目標値	回		1	1	1	1	1
	実績値			1	1	1	1	
小学校における歯科健診の実施校数	目標値	校		全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
	実績値			全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	
中学1年生における小児生活習慣病予防検診及び事後指導の実施校数	目標値	校		全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校
	実績値			全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	
小学校における栄養教室の実施校数	目標値	校		全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
	実績値			全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	
大会に向けた課外活動に参加する児童数	目標値	人		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績値			1,214	1,114	1,245	1,013	
健歯またはむし歯を治癒した児童の割合	目標値	%		85	85	85	85	85
	実績値			88	88	89	90	
中学3年生時における肥満度有所見者の割合	目標値	%		9	9	9	9	9
	実績値			11	10	12	11	
小学生の朝食の欠食率	目標値	%		1	1	1	1	1
	実績値			1	1	1	3	
	目標値							
	実績値							

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
児童生徒の発達段階をふまえて工夫して実施することで、目標値程度の実績を収めている。今後も事業内容を工夫しながら継続し、児童生徒の健やかな体の育成に努めていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	28
実施計画事業名	教育環境整備の充実		担当部署名	学務課 教育総務課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境が充実したまちを目指します。 児童・生徒数が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設 や教育環境を継続的に整えます。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	印西市教育大綱 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基 本方針 印西市学校施設長寿命化計画	
取組方針	教育環境整備の充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第4次実施計画) 単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修や学級増に対応した増築 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育 就学奨励費の支給) 学校現場における適切な人材確保 及び人員配置 小中学校が実施する修学旅行費 の一部補助 印西市立小中学校への通学手段 として路線バスを利用している児童 及び生徒に対し、定期乗車券分の 全額補助 小中学校特別教室及び配膳室エ アコン実施設計 小中学校特別教室及び配膳室エ アコン設置工事 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修や学級増に対応した増築 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育 就学奨励費の支給) 学校現場における適切な人材確保 及び人員配置 小中学校が実施する修学旅行費 の一部補助 印西市立小中学校への通学手段 として路線バスを利用している児童 及び生徒に対し、定期乗車券分の 全額補助 小中学校特別教室及び配膳室エ アコン実施設計 小中学校特別教室及び配膳室エ アコン設置工事 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修や学級増に対応した増築 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育 就学奨励費の支給) 学校現場における適切な人材確保 及び人員配置 小中学校が実施する修学旅行費 の一部補助 印西市立小中学校への通学手段 として路線バスを利用している児童 及び生徒に対し、定期乗車券分の 全額補助 小中学校特別教室及び配膳室エ アコン設置工事
事業費	1,337,986千円	1,337,986千円	1,337,986千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-2	事務局費	通学支援に要する経費
	9-1-3	教育研究指導費	きめ細かな教育の充実事業
	9-2-1	学校管理費	小学校施設整備改修事業
	9-2-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業
	9-2-2	教育振興費	就学援助事業
	9-2-2	教育振興費	小学校修学旅行費補助事業
	9-3-1	学校管理費	中学校施設整備改修事業
	9-3-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業
	9-3-2	教育振興費	就学援助事業
	9-3-2	教育振興費	中学校修学旅行費補助事業

3. 事業実績等 単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・原山小学校保全改修工事、大森小学校改修工事、本埜小学校体育館改修工事、小林小学校改修設計、いには野小学校体育館改修設計、印西中学校体育館改修設計	当初予算	1,337,986,000円
	・原小学校校舎増築	予算現額	1,245,826,000円
	・小中学校特別教室及び配膳室エアコン実施設計	決算額	904,828,631円
	・小中学校特別教室及び配膳室エアコン設置工事	翌年度繰越額	155,544,900円
・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給:417件、特別支援教育就学奨励費の支給:299件) ・学校現場における適切な人材確保及び人員配置 (学習指導員:58人、介助員:47人、日本語指導員:9人) ・小中学校が実施する修学旅行費の一部補助実績数 小学校18校、中学校9校 ・印西市立小中学校へ通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対する補助実績数 37件			

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	大規模改修及び設計実施数	件	目標値	2	3	3	3	3
			実績値	2	4	3	6	
	増築事業の実施件数	件	目標値	2	2	1	1	-
			実績値	2	2	1	1	
	小中学校特別教室エアコン設置の教室数	室	目標値	-	2	3	3	3
			実績値	-	7	3	-	-
特別教室エアコン設置工事の実施件数	校	目標値	-	-	-	-	7	
		実績値	-	-	-	-	-	
特別支援教育支援員の配置人数	人	目標値	44	47	50	53	56	
		実績値	40	41	42	47		
成果指標	改修実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	133	100	200	
	増築事業の進捗率	%	目標値	100	100	100	100	-
			実績値	100	100	100	100	
	特別教室エアコン設置率	%	目標値	-	100	100	100	100
			実績値	-	350	100	-	-
特別教室エアコン整備率	%	目標値	-	-	-	11	37	
		実績値	-	-	-	11		
特別支援教育支援員の配置率	%	目標値	100	100	100	100	100	
		実績値	90	87	84	89		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校施設の改修や学級増に対応した増築工事については、計画通り実施した。また、就学援助等の経済的支援や介助員配置等の学校現場で必要とされる支援について適切に実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
印西市学校施設長寿命化計画に則り、計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。また、引き続き、児童・生徒の急増に対応するため校舎増築等の必要がある。 就学援助等の経済的支援や介助員配置等の学校現場で必要とされる支援について継続的に実施する必要がある。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号 29

1. 事業の概要

実施計画事業名	学校の適正規模・適正配置の推進		担当部署名	学務課
事業の実施目的及び概要	学校規模により生じる教育指導上及び学校運営上の課題を解消し、より良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、学校の適正規模・適正配置を推進します。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引(文部科学省) 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基本方針	
取組方針	学校の適正規模・適正配置の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 学校の適正規模・適正配置の推進 学校適正配置審議会の開催 保護者説明会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の適正規模・適正配置の推進 学校適正配置審議会の開催 保護者説明会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の適正規模・適正配置の推進 学校適正配置審議会の開催 保護者説明会等の実施
事業費	2,987千円	2,180千円	2,180千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	学校適正配置に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校適正配置審議会の開催(1回) 保護者説明会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ①通学区域制度の弾力的運用に関する学校見学会(10回) ②原小学校過大規模校の対応に係る意見交換会(自治会役員会)(4回) ③原小学校過大規模校の対応に係る意見交換会(地域住民及び保護者)(4回) 	当初予算	2,987,000円
		予算現額	2,987,000円
		決算額	2,117,299円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市学校適正配置審議会の開催回数	回	目標値	2	4	5	2	2
			実績値	6	8	4	1	
	保護者説明会等の開催	回	目標値	実施	実施	実施	実施	実施
			実績値	4	14	8	18	
			目標値					
			実績値					
成果指標	学校適正配置の推進		目標値	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠であるため、目標指標は設定しない。				
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	原小学校過大規模校対策として、通学区域制度の弾力的運用に関し、就学先の高花小学校・いには野小学校・本塾小学校・船穂小学校の見学会を行った。また、分離新設に関し、自治会役員会・保護者・地域住民の方に対し検討状況を説明し、意見交換を行った。学校適正配置審議会において、印西市全体の現状及び原小学校の検討状況を報告し、ご意見をいただいた。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠なため、目標は設定しない。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	原小学校及び西の原中学校については、義務教育学校の新設に向けて検討を進めていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
策定完了した第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、進捗管理を行う。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	30
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	情報化社会に対応した教育の推進		担当部署名	指導課、学務課 教育総務課
事業の実施目的 及び概要	国が提唱するGIGAスクール構想の実現に向け、情報化社会に対応した教育を実施するため、無線LANやパソコンなどのICT環境の整備を推進します。 また、研修等を通じた教員のICT活用指導力の向上や情報モラル教育等、ハード・ソフトの両面から情報教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画 印西市DX推進方針	
取組方針	情報化社会に対応した教育の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による少人数研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台の児童生徒用パソコン等の更新及び児童生徒増及び学級増分の整備 ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による少人数研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による少人数研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進
事業費	703,621千円	1,333,321千円	703,621千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-1	学校管理費	小学校管理運営に要する経費
	9-2-2	教育振興費	教材整備に要する経費
	9-2-2	教育振興費	教材に要する経費
	9-3-1	学校管理費	中学校管理運営に要する経費
	9-3-2	教育振興費	教材整備に要する経費
	9-3-2	教育振興費	教材に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・令和6年度の児童生徒増分として688台のパソコンを購入した。また、教育系ネットワークの見直しを行った。 ・大型提示装置を学級増分35台整備した。 ・ICT支援員を5名(令和5年度と同じ)配置した。 ・教科等の指導におけるICT活用や校務の情報化推進のための研修を行った。教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修など、27校の全教員を対象として、デジタル基盤を活用した子供たちの資質・能力向上に関する講座を開催した。 ・教育DX専門官の指示のもと、2中学校区(印西中・印旛中)でリーディングDXを実施した。印西市教育DX推進計画を策定するとともに、全小中学校で学校情報化推進認定を受けた。	当初予算	387,191,000円
	予算現額	547,094,000円	
	決算額	453,917,254円	
	翌年度繰越額	-	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	教育用パソコン整備台数	台	目標値	355	467	645	425	13,280
			実績値	770	332	701	688	
	ICT教員研修回数	回	目標値	9	9	9	9	12
			実績値	22	20	19	105	
				目標値				
				実績値				
成果指標	教育用パソコン整備率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
	ICT教員研修参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	96	100	
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
情報教育の推進のため、第2期GIGAスクール環境整備を実施していく。具体的には、児童生徒用の学習パソコン、教職員用の指導者用パソコン等の整備及びICT活用研修を実施する。

令和6年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	31
1. 事業の概要				
実施計画事業名	信頼される学校づくり		担当部署名	指導課
事業の実施目的及び概要	生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うため、安全に関する資質・能力を育てます。 また、社会に開かれた教育課程の実現に向け、家庭や地域に対してホームページや学校だより等を活用して、積極的に学校の状況を情報発信し、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	信頼される学校づくり			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施(全小中学校) 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) 防犯ブザーの貸与 自転車通学用ヘルメットの貸与 メール配信システムの活用(全小中学校) 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 地域ボランティアの活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施(全小中学校) 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) 防犯ブザーの貸与 自転車通学用ヘルメットの貸与 メール配信システムの活用(全小中学校) 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 地域ボランティアの活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施(全小中学校) 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) 防犯ブザーの貸与 自転車通学用ヘルメットの貸与 メール配信システムの活用(全小中学校) 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 地域ボランティアの活動支援
事業費	149,128千円	149,128千円	149,128千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-6-1	保健体育総務費	学校安全事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	交通安全教室及び防犯教室については、全校(幼稚園1園、小中学校27校)において実施した。	当初予算	149,128,000円
	防犯ブザーについては、対象となる児童全員(1,392名)に貸与した。	予算現額	160,277,000円
	自転車通学用ヘルメットは、対象となる生徒全員(208名)に貸与した。形状がスタイリッシュになったことから、通学以外でも着用する生徒が増えている。今後も同形状のヘルメットを貸与していく予定。	決算額	145,886,792円
	メール配信システムを全校で随時活用し、不審者情報や緊急の連絡事項を迅速に配信した。	翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施校数	校	目標値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
			実績値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	
	対象者への自転車通学用ヘルメットの貸与率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
メール配信システムの活用	回	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	
		実績値	3,506	5,390	5,244	3,543		
成果指標	印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	
	学校HPの更新		目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	随時	随時	随時	随時	
重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0	1		
自転車通学時における重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0	1		
メール配信システムへの登録率(家庭数)	%	目標値	95	95	95	98	98	
		実績値	100	99	98	99		
通学路の改善対応箇所(公表値)	箇所	目標値	7	7	20	20	20	
		実績値	68	63	89	81		
学校HPへの年間アクセス総数	件	目標値	360万	360万	600万	600万	600万	
		実績値	1,010万	1,250万	1,560万	1,682万		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
学校から家庭への連絡や情報配信の方法が、メール配信より情報量が多い電子配信ツールに置き換わってきている。そのため、学校からのメール配信数が減ってきている。災害時を見据え、複数の連絡方法がある方がよいと考え、併用していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	32
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	文化・芸術活動の推進	担当部署名	文化振興課
事業の実施目的及び概要	市民により豊かな心を育み生活に潤いをもたらしていただくことを目的とし、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を目標とします。文化・芸術振興のための施設整備や改修を計画的に行い、発表の場を確保するとともに、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、市民のニーズに合った文化・芸術活動の推進に取り組みます。		
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	社会教育法、文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設等総合管理計画
取組方針	文化・芸術活動の推進		
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭の開催 芸術文化活動への共催・後援 芸術文化振興団体との連携、運営支援 印西まちなか音楽祭の実施 文化芸術に触れる機会の提供 市民の自主的な文化・芸術活動の支援 文化ホール指定管理者による管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭の開催 芸術文化活動への共催・後援 芸術文化振興団体との連携、運営支援 印西まちなか音楽祭の実施 文化芸術に触れる機会の提供 市民の自主的な文化・芸術活動の支援 文化ホール指定管理者による管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭の開催 芸術文化活動への共催・後援 芸術文化振興団体との連携、運営支援 印西まちなか音楽祭の実施 文化芸術に触れる機会の提供 市民の自主的な文化・芸術活動の支援 文化ホール指定管理者による管理運営
事業費	143,282千円	141,353千円	140,353千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-3	文化振興費	文化振興活動に要する経費
	9-5-6	文化ホール費	文化ホール運営事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	・第29回印西市民文化祭及びオンライン文化祭を実施した。 ・芸術文化活動への共催・後援事業等支援を行った。 ・芸術文化振興に関する各種団体との連携及び自立した運営のための助言を行った。 ・第3回目となる「印西まちなか音楽祭」を実行委員会と共催で実施し、約21,500人の方々が来場した。 ・令和5年度より、文化ホールの管理運営は指定管理者となったことからモニタリングを行った。 ・文化ホール主催事業(自主文化事業)として、全26事業(鑑賞型13事業・育成7事業・普及育成2事業・創出4事業)を実施した。	当初予算	143,282,000円
		予算現額	143,282,000円
		決算額	141,660,205円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民文化祭への参加・出品募集の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4	4	4	4	
	市民文化祭開催の周知	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	
	芸術文化活動への共催・後援の周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	
文化ホール主催事業の広報・HP掲載	回	目標値	16	16	16	75	75	
		実績値	22	32	47	77		
文化ホール機関情報紙の発行	回	目標値	12	12	12	16	16	
		実績値	12	12	16	17		
成果指標	市民文化祭への参加・出品数	点	目標値	250	250	250	310	310
			実績値	308	310	322	302	
	市民文化祭来場者数	人	目標値	1,200	1,250	1,300	5,000	5,000
			実績値	3,652	4,722	5,997	5,738	
	芸術文化活動への共催・後援数	件	目標値	5	10	15	30	33
			実績値	21	32	37	39	
	文化ホール利用率(大森図書館除く)	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	43	59	54	65	
	チケット売上率(有料公演有効チケット枚数に対する売上枚数)	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	86	75	72	72	

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市民文化祭、印西まちなか音楽祭及び文化ホール事業を実施し、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を継続し進めていく。 文化・芸術の発信拠点である、文化ホールの役割を果たすべく、事業を継続していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	33
1. 事業の概要				
実施計画事業名	文化財の保護・活用の推進		担当部署名	文化振興課
事業の実施目的及び概要	地域に対する愛着心を醸成することを目的とし、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護や保存及び活用を進めます。先人の残した文化遺産である本市の歴史や文化財の価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、資料に触れる環境整備に努めます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	博物館法、文化財保護法、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例、印西市文化財保護条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン	
取組方針	文化財の保護・活用の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 道作1号墳調査報告書の刊行に伴う資料整理 石造物調査の実施(印旛地区) 仏像調査報告書(印旛地区)の調書整理 社寺建造物基礎調査の検討 市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 市内史跡維持管理事業 有形・無形文化財保護に対する補助 貝化石分類事業の実施 民俗資料活用事業の実施 歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 歴史民俗資料館研究紀要刊行 収蔵資料データベース化の準備 歴史文化施設の整備に関する検討 工芸品展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 道作1号墳調査報告書の刊行に伴う資料整理及び刊行 石造物調査の実施(印旛地区) 仏像調査報告書(印旛地区)の刊行準備 社寺建造物基礎調査の検討 市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 市内史跡維持管理事業 有形・無形文化財保護に対する補助 貝化石分類事業の実施 民俗資料活用事業の実施 歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 歴史民俗資料館研究紀要刊行 収蔵資料データベース化の準備 歴史文化施設の基本設計 美術品展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 石造物調査の実施(印旛地区) 仏像調査報告書(印旛地区)の刊行 社寺建造物基礎調査の検討 市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 市内史跡維持管理事業 有形・無形民俗文化財に対する補助 貝化石分類事業の実施 民俗資料活用事業の実施 歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 収蔵資料データベース化の準備 歴史文化施設の実施設計
事業費	40,137千円	167,976千円	285,764千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	9-5-3	文化振興費	文化財審議会運営に要する経費
	9-5-3	文化振興費	文化財保護調査事業
	9-5-3	文化振興費	資料整理保管に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史民俗資料館運営委員会に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館事業活動費
	9-5-7	資料館費	資料館運営事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	・道作1号墳調査の実施 ・石造物調査(印旛地区)の調査(16回) ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・仏像調査報告書(印旛地区)の調書の実施 ・市内遺跡発掘調査の実施(21遺跡) ・市内遺跡発掘調査報告書(R5)の刊行(9遺跡) ・市内史跡維持管理業務(4箇所) ・有形・無形文化財保護に対する補助(15件) ・貝化石分類事業の実施(2回) ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示事業 常設展示を実施 ・歴史民俗資料館資料の収集・整理保管事業 寄贈7点、収蔵資料の整理・くん蒸を実施 ・歴史民俗資料館調査研究事業 市内出土埴輪、古文書、民俗資料、民俗行事等の調査、整理(26回) ・歴史民俗資料館普及事業 体験講座4講座、資料館講座3講座を実施(延べ108人) ・歴史民俗資料館研究紀要第7号刊行(400部) ・収蔵資料データベース化の準備 ・香取秀真展の実施	当初予算	40,137,000円
		予算現額	35,931,000円
		決算額	32,450,059円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	調査報告書・パンフレットの刊行	部	目標値	600	600	600	3,600	600
			実績値	5,300	2,800	300	3,300	
	調査報告書・パンフレット刊行の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	1	2	
	文化財等活用事業の周知	回	目標値	6	6	6	7	7
			実績値	5	4	7	11	
歴史民俗資料館運営事業における利用資料数	点	目標値	300	300	300	600	600	
		実績値	486	703	668	709		
歴史民俗資料館企画展・講座、調査等実施回数	回	目標値	5	5	5	20	20	
		実績値	7	24	29	49		
成果指標	調査報告書・パンフレットの販売・配布数	冊	目標値	300	350	350	400	350
			実績値	1,300	1,400	1,400	2,350	
	文化財等活用事業参加者数	人	目標値	50	60	70	80	90
			実績値	140	80	135	137	
	歴史民俗資料館収集資料数	点	目標値	65,000	65,020	65,520	65,530	65,540
			実績値	65,503	65,509	65,733	65,740	
歴史民俗資料館入館者数	人	目標値	900	900	900	900	900	
		実績値	842	751	794	808		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
目標値に満たなかった指標については目標値を達成できるよう努める。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	34
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	市史編さん事業や地域史料の保存		担当部署名	文化振興課
事業の実施目的及び概要	市民の活動を記録した地域資料を次世代に引き継ぎ、郷土の歴史・文化への関心・理解・愛郷心の高揚を育むため、歴史的公文書の移管並びに歴史資料や古文書を収集し、整理・調査研究・保存に努めるとともに、その活用を図ります。 また、市史編さん事業の実施により、市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を順次刊行し、市民共有の財産として後世に継承します。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	印西市立木下交流の杜歴史資料センターの設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市史編さん委員会設置条例、印西市史編さん専門委員設置要綱、印西市史編さん事業基本方針、博物館法、文書管理法、公文書館法、国立公文書館法、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	市史編さん事業や地域史料の保存			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 古文書等の収集・整理保管 歴史公文書の収集・整理保管 市史刊行事業の実施 近世資料編編集、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 資料のくん蒸 市史編さん講演会等の実施 常設展示の一部展示替え 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 	<ul style="list-style-type: none"> 古文書等の収集・整理保管 歴史公文書の収集・整理保管 市史刊行事業の実施 近世資料編編集、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 資料のくん蒸 市史編さん講演会等の実施 常設展示の一部展示替え 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 	<ul style="list-style-type: none"> 古文書等の収集・整理保管 歴史公文書の収集・整理保管 市史刊行事業の実施 近世通史編編集、中世資料編刊行、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 資料のくん蒸 市史編さん講演会等の実施 常設展示の一部展示替え 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営
事業費	13,149千円	20,120千円	20,120千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	9-5-7	資料館費	市史刊行事業
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター事業活動費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター運営事務に要する経費
	9-5-7	資料館費	市史編さん委員会運営に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	・古文書等の収集・整理保管を実施した。 ・歴史公文書の収集・整理保管を実施した。 ・各専門部会の資料収集・調査を実施した。 ・市史刊行物頒布を実施した。(販売数277冊) ・市史刊行事業を実施した。 ・市史編さん講演会を開催した。 ・資料のくん蒸を実施した。 ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営を実施した。	当初予算	13,149,000円
		予算現額	12,686,000円
		決算額	7,349,109円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動指標	市史編さん委員会の開催	回	目標値 2	実績値 2	目標値 3	実績値 3	目標値 3	
		回	目標値 -	実績値 -	目標値 -	実績値 -	目標値 2	
	専門部会の開催(原始・古代)	回	目標値 2	実績値 2	目標値 4	実績値 4	目標値 4	
		回	目標値 3	実績値 0	目標値 3	実績値 1	目標値 4	実績値 2
	専門部会の開催(中世)	回	目標値 2	実績値 2	目標値 4	実績値 2	目標値 4	実績値 3
		回	目標値 3	実績値 0	目標値 3	実績値 1	目標値 4	実績値 2
専門部会の開催(近世)	回	目標値 3	実績値 4	目標値 6	実績値 3	目標値 -	実績値 -	
	回	目標値 3	実績値 4	目標値 6	実績値 3	目標値 -	実績値 -	
成果指標	市史刊行物等の頒布	部	目標値 58	実績値 59	目標値 59	実績値 60	目標値 60	
		部	目標値 60	実績値 59	目標値 60	実績値 60	目標値 60	実績値 63
	市史編さん講演会等の参加者数	人	目標値 60	実績値 35	目標値 60	実績値 70	目標値 60	実績値 0
		人	目標値 60	実績値 35	目標値 60	実績値 70	目標値 60	実績値 64
	木下交流の杜歴史資料センターの来所者数	人	目標値 3,000	実績値 2,833	目標値 3,000	実績値 3,174	目標値 3,000	実績値 2,821
		人	目標値 3,000	実績値 2,833	目標値 3,000	実績値 3,174	目標値 3,000	実績値 2,821

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値に満たない指標があった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
目標値に満たなかった指標については目標値を達成できるよう努める。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号 35

1. 事業の概要

実施計画事業名	多様な学習機会の提供		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	市民の関心や参加意欲の向上を目指し、市民アカデミーや出前講座で市民の学習に対するニーズや年齢層に合わせた多様な学習機会を提供するとともに、様々な生涯学習の取り組みに参加できるよう、生涯学習情報の収集に努め、生涯学習ガイドやホームページによる情報提供の充実を図ります。また、大学や企業などとの連携・協力した事業を展開し、市民の学習機会の拡充を図ります。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	多様な学習機会の提供			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ガイドの発行 ホームページによる情報提供 生涯学習講師、指導者情報の充実 印西市民アカデミーの実施 出前講座の実施 高等教育機関等との連携した事業の実施 社会教育関係団体の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ガイドの発行 ホームページによる情報提供 生涯学習講師、指導者情報の充実 印西市民アカデミーの実施 出前講座の実施 高等教育機関等との連携した事業の実施 社会教育関係団体の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ガイドの発行 ホームページによる情報提供 生涯学習講師、指導者情報の充実 印西市民アカデミーの実施 出前講座の実施 高等教育機関等との連携した事業の実施 社会教育関係団体の支援
事業費	668千円	668千円	668千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-1	社会教育総務費	生涯学習推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	生涯学習ガイド300部発行、市内各施設(支所・図書館・公民館・幼・保育園・小中学校等)に配置し、ホームページにも掲載した。	当初予算	668,000円
	講師や指導者が公開しているホームページも掲載し、内容の充実を図った。	予算現額	668,000円
	生涯学習ガイドにて講師、指導者情報の充実を図った(掲載数146人)。	決算額	576,388円
	市民アカデミーは、学習内容の一部を見直し、1年生29人・年間25回、2年生9人・年間10回実施した。	翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	生涯学習ガイドの広報での周知回数	回	目標値	-	-	2	2	2
			実績値	-	-	2	0	
	出前講座講座数	件	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	64	63	60	58	
	市民アカデミー開催数	回	目標値	76	76	76	76	76
			実績値	25	30	31	35	
高等教育機関等との連携した講座数	件	目標値	4	5	5	6	6	
		実績値	4	5	5	4		
成果指標	出前講座利用申込数	件	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	31	53	57	37	
	出前講座利用人数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	419	928	848	896	
	市民アカデミー参加人数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	46	26	24	38	
	生涯学習ガイドのホームページアクセス数	件	目標値	700	700	700	2,100	2,100
			実績値	1,262	2,088	2,506	1,432	
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	D 目標値を下回る	全体的に目標値を下回る結果となり、改善に向けた方策を研究・検討していく。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	出前講座の利用人数は回復傾向にあり、参加者は前年と比較すると増加した。内容のブラッシュアップを図り、幅広い年齢層から利用してもらえる事業としたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	全体的に目標値を下回る結果となり、改善に向けた方策を研究・検討していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市民アカデミーは生涯学習の起点でもあるリカレント教育の場であり、欠かす事の出来ない事業である。また、出前講座や生涯学習ガイドは、自分や仲間内で学びの機会のきっかけとなるため、今後も内容の充実に対して検討を進めていきたい。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	36
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	図書館サービスの充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	市民の読書活動や学習活動を推進し、また、地域における情報やコミュニティの拠点として市民生活に役立つ施設となるよう、従来の来館型サービスの他、電子書籍の導入など非来館型サービスの充実を図り、図書館の利用を促進します。 また、利用しやすい環境整備に努めるため、施設整備のあり方などについて調査・研究します。 さらに、読書活動を深める機会の提供や読書環境の整備・充実に努め、子どもの読書活動を推進します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	図書館法、印西市立図書館設置条例及び同条例施行規則、第2期印西市教育振興基本計画、印西市子ども読書活動推進計画(第四次)、印西市公共施設等総合管理計画、印西市DX推進方針、印西市立図書館サービス計画	
取組方針	図書館サービスの充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集・管理及び提供 ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 子どもの読書活動推進 小倉台図書館保全改修工事基本設計・実施設計 (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書館の貸出窓口の準備 民話絵本の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集・管理及び提供 ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 子どもの読書活動推進 ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館) (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書館の貸出窓口運用開始 本埜ファミリア館改修工事(本埜図書館) 民話絵本の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集・管理及び提供 ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 子どもの読書活動推進 小倉台図書館保全改修工事 ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館)
事業費	152,465千円	135,071千円	286,688千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	9-5-5	図書館費	図書館協議会運営に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館運営事務に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館施設管理に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書資料の整備に要する経費
	9-5-5	図書館費	小倉台図書館立替償還金

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	資料の収集・管理及び提供を行った。 ホームページ等による蔵書の公開の記事の更新を行った。 電子書籍を新たに383タイトル提供し、非来館型サービスの充実を図った。 子ども読書活動推進計画(第四次)に基づき児童書の収集や児童向けの事業等を実施した。 小倉台図書館保全改修工事の基本設計・実施設計を行った。 中央駅前地域交流館の新館であるコスモパレットIIに設置する「図書館の貸出窓口」の開館に向け、図書館システムの設営や職員の研修、利用案内作成、ホームページ等での広報を行うなど準備を行った。 民話絵本「そうふけつばらのきつね」を再刷し、市内小中学校や幼稚園、保育園、学童クラブ、県立図書館、県内他自治図書館等に550部配布し、広く利用に供した。 民話「光堂の竜」の絵本を令和7年度に作成するため、令和6年度に業務委託契約を行った。(債務負担行為) 施設の改修工事設計に伴い、印旛図書館・本埜図書館の改修工事内容を検討した。	当初予算	152,465,000円
	予算現額	152,465,000円	
	決算額	144,550,558円	
	翌年度繰越額	-	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	図書資料受入点数	点	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	10,406	10,033	11,496	14,090	
	内児童資料受入点数	点	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	2,075	1,976	2,664	4,450	
	資料予約件数	件	目標値	127,000	127,100	127,200	150,000	150,000
			実績値	142,754	142,449	156,685	162,536	
電子書籍受入点数	点	目標値	300	350	400	450	500	
		実績値	350	295	278	383		
成果指標	個人貸出点数	点	目標値	820,000	820,500	821,000	821,500	822,000
			実績値	839,613	814,954	845,338	822,646	
	内児童資料貸出点数	点	目標値	320,000	320,200	320,400	350,000	350,000
			実績値	349,754	346,295	360,201	345,009	
	レファレンス件数 ※レファレンス-調べものを支援するサービス	件	目標値	25,000	25,100	25,200	25,300	25,400
			実績値	17,970	18,873	19,766	20,458	
	電子書籍貸出点数	点	目標値	1,000	1,150	1,200	1,350	1,500
			実績値	1,395	988	1,610	1,508	
				目標値				
				実績値				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も図書館サービスの充実として継続して実施する。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	37
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	生涯学習施設の整備・充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	子どもから高齢者まで市民一人ひとりの多様な学習活動の実践や参画を側面から支援し、自己実現につながる生涯を通じて学習できるまちづくりを推進していきます。 そのためには、多様化する市民ニーズに対応した学習機会を提供するため、各公民館等では年齢層等に対応した事業や地域の特性を生かした事業を展開するとともに、学習の場を提供するため、だれもが安全で安心して快適に施設を使用するため、適正な施設機能の確保に努めていくこととします。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 印西市立公民館の設置及び管理に関する条例及び規則 印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 第2期印西市教育振興基本計画等	
取組方針	生涯学習施設の整備・充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 団体育成事業 個人学習支援事業 貸館事業 施設維持管理事業 本埜公民館保全改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 団体育成事業 個人学習支援事業 貸館事業 施設維持管理事業 (仮称)千葉ニュータウン中央駅前複合施設の指定管理者による管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 団体育成事業 個人学習支援事業 貸館事業 施設維持管理事業 ふれあいセンターいんば改修及び複合化に伴う備品運搬業務 印旛公民館解体設計業務 (仮称)千葉ニュータウン中央駅前複合施設の指定管理者による管理運営
事業費	972,705千円	550,512千円	471,497千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-4	公民館費	公民館運営審議会運営費
	9-5-4	公民館費	中央公民館運営事務に要する経費、小林公民館運営事務に要する経費、そうふけ公民館運営事務に要する経費、印旛公民館運営事務に要する経費、本埜公民館運営事務に要する経費、中央駅前地域交流館運営事務に要する経費
	9-5-4	公民館費	中央公民館事業活動費、小林公民館事業活動費、そうふけ公民館事業活動費、印旛公民館事業活動費、中央駅前地域交流館事業活動費
	9-5-4	公民館費	中央公民館施設管理に要する経費、小林公民館施設管理に要する経費、そうふけ公民館施設管理に要する経費、印旛公民館施設管理に要する経費、本埜公民館施設管理に要する経費、中央駅前地域交流館施設管理に要する経費
	9-5-4	公民館費	ふれあい文化館立替償還金、(仮称)千葉ニュータウン中央駅前複合施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	・公民館等主催事業(子ども対象事業、大人対象事業等)の実施 ・子ども対象事業 35事業 11,280人 ・大人対象事業 33事業 2,859人 ・共催事業 2事業 38人 ・団体育成事業の実施 126団体 ・個人学習事業の実施 3,258人 ・貸館事業の実施 157,857人 ・施設維持管理事業(中央公民館 4,123,220円 小林公民館 277,420円 そうふけ公民館 1,624,700円 印旛公民館 864,600円 本埜公民館 660,000円 中央駅前地域交流館 1,361,349円) ・本埜公民館保全改修工事 695,774,400円(令和5・6年度継続) ・本埜公民館保全改修工事監理事務委託 12,446,500円(令和5・6年度継続)	当初予算	3,495,189,000円
		予算現額	3,743,236,500円
		決算額	3,450,833,052円
		翌年度繰越額	7,420,000円

4. 指標及び実績値

活動指標	指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動指標	主催事業実施数	事業	目標値	70	75	70	75	80	
			実績値	51	67	77	68		
	公民館定期利用団体数(利用者登録団体)	団体	目標値	230	240	240	240	240	
			実績値	136	133	131	126		
成果指標	主催事業参加者数	延べ人数	目標値	24,000	24,000	23,800	24,700	25,000	
			実績値	11,838	15,241	16,237	16,001		
	公民館利用者数	延べ人数	目標値	200,000	226,000	220,000	235,000	242,000	
			実績値	111,626	152,964	189,191	157,857		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
			目標値						
			実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	本埜公民館改修工事に伴う休館、及び中央駅前地域交流館改修工事に伴う一部貸館停止等により、指標目標値を下回ったと考える。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	本埜公民館改修工事に伴う休館、及び中央駅前地域交流館改修工事に伴う一部貸館停止等により、指標目標値を下回ったと考える。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	本埜公民館改修工事に伴う休館、及び中央駅前地域交流館改修工事に伴う一部貸館停止等により、指標目標値を下回ったと考える。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
より多くの市民に事業へ参加いただくために、魅力的な企画や、周知の方法を検討する。また、公民館使用団体へ支援の拡充を図り、新たな団体の立ち上げや既存団体の活性化へつなげるよう努めていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	38
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成	担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	子どもたちを地域ぐるみで守り育てるために、学校・家庭・地域との連携を図り、青少年の健全な育成にむけた活動を行います。 また、家庭における教育力の向上を目指し、市内公立幼稚園・小中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設します。		
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 第2期印西市教育振興基本計画 新・放課後子ども総合プラン 次世代育成支援対策推進法他
取組方針	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs	 		

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> こども110番事業の実施 青少年健全育成大会の実施 青少年相談員への事業支援 放課後子ども教室事業の実施 家庭教育の推進 地域学校協働活動の支援 二十歳を祝う会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> こども110番事業の実施 青少年健全育成大会の実施 青少年相談員への事業支援 放課後子ども教室事業の実施 家庭教育の推進 地域学校協働活動の支援 二十歳を祝う会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> こども110番事業の実施 青少年健全育成大会の実施 青少年相談員への事業支援 放課後子ども教室事業の実施 家庭教育の推進 地域学校協働活動の支援 二十歳を祝う会の開催
事業費	10,375千円	12,513千円	10,726千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-2	青少年対策費	青少年相談員運営に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	青少年対策事業活動費
	9-5-2	青少年対策費	家庭教育学級事業
	9-5-2	青少年対策費	二十歳を祝う会に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	放課後子ども教室に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の事業実績・成果	・子ども110番事業について、看板・ステッカーの配布(196枚)や保険加入を行った。 ・社会を明るくする運動青少年健全育成大会については、内野小学校、木刈中学校に出演いただいた。 ・放課後子ども教室については、滝野小学校(10回/46人)、本埜小学校(10回/29人)で計20回実施し、75人が参加した。また、新たに原山小学校で開設し、208回の実施、79人の参加があった。(参加人数は利用登録者数) ・家庭教育学級について必修学級28学級、任意開設の学年学級2学級を開設した。各学級3~5回程度の学習会を開催し、1,721名が参加した。 ・地域学校協働活動の支援として、地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業に補助金を交付した。 ・二十歳を祝う会を開催し、715名が参加した。	当初予算	10,375,000円
		予算現額	13,930,000円
		決算額	8,532,825円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	放課後子ども教室開催数	回	目標値	24	36	36	36	36
			実績値	16	20	20	228	
	家庭教育学級講座開催総数	回	目標値	270	270	270	270	270
			実績値	95	147	147	186	
	家庭教育学級開設学級数	学級	目標値	42	42	42	42	42
			実績値	33	33	34	34	
			目標値					
			実績値					
成果指標	こども110番協力家庭・事業所数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,466	1,543	1,601	1,622	
	放課後子ども教室参加児童数	人	目標値	90	110	110	110	110
			実績値	62	81	72	154	
	家庭教育学級講座参加者数	延べ人数	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値	1,051	1,557	1,375	1,721	
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値には到達出来なかった項目については、それぞれの事業において活動の活性化に向けた工夫と関係者の理解が必要である
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標を上回る成果を果たした項目もあるが、それ以外の活動については活動の活性化に向けた創意工夫と関係者の理解が必要である
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値には到達出来なかった項目については、それぞれの事業において活動の活性化に向けた工夫と関係者の理解が必要である

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成の推進を図るため、事業を継続する。